

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 3 月 23 日 (2006.3.23)

【公開番号】特開 2000-169767 (P2000-169767A)

【公開日】平成 12 年 6 月 20 日 (2000.6.20)

【出願番号】特願 平 10-351391

【国際特許分類】

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

A 0 1 M 29/00 (2006.01)

B 3 2 B 27/30 (2006.01)

C 0 9 D 5/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 7/12

A 0 1 M 29/00 N

B 3 2 B 27/30 A

C 0 9 D 5/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 12 月 7 日 (2005.12.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 アクリル樹脂を主成分とし、さらに、アゾメチン系紫外線吸収剤、インドール系紫外線吸収剤およびベンゾフェノン系紫外線吸収剤からなる群より選ばれた少なくとも一種の紫外線吸収剤 (a) と、ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤およびトリアジン系紫外線吸収剤からなる群より選ばれた少なくとも一種の紫外線吸収剤 (b) とを併せて含有し、かつ紫外線吸収剤 (a) の含有量の割合はフィルム中 $0.05 \sim 6 \text{ g/m}^2$ である 400 nm 以下の波長の透過率が 20% 以下で、かつ 420 nm 以上の可視光領域の透過率が 55% 以上であることを特徴とする厚み $300 \mu\text{m}$ 以下の透明性に優れた害虫誘引阻止アクリル樹脂フィルム。

【請求項 2】 請求項 1 記載の害虫誘引阻止アクリル樹脂フィルムを表面に有することを特徴とする積層体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

すなわち本発明は、アクリル樹脂を主成分とし、さらに、アゾメチン系紫外線吸収剤、インドール系紫外線吸収剤およびベンゾフェノン系紫外線吸収剤からなる群より選ばれた少なくとも一種の紫外線吸収剤 (a) と、ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤およびトリアジン系紫外線吸収剤からなる群より選ばれた少なくとも一種の紫外線吸収剤 (b) とを併せて含有し、かつ紫外線吸収剤 (a) の含有量の割合はフィルム中 $0.05 \sim 6 \text{ g/m}^2$ である 400 nm 以下の波長の透過率が 20% 以下で、かつ 420 nm 以上の可視光領域の透過率が 55% 以上であることを特徴とする厚み $300 \mu\text{m}$ 以下の透明性に優れた害虫誘引阻止アクリル樹脂フィルムである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

400nm以下の紫外線をカットする為には、アゾメチン系紫外線吸収剤、インドール系紫外線吸収剤およびベンゾフェノン系紫外線吸収剤からなる群より選ばれた少なくとも一種の紫外線吸収剤（a）と、ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤およびトリアジン系紫外線吸収剤からなる群より選ばれた少なくとも一種の紫外線吸収剤（b）とを併せて含有する。